

# 令和元年6月実施 講座レポート 「ひろせ地域防災講座」



広瀬の学び わかちあい

広瀬市民センター

●お問い合わせ (9:00~21:00)

講座 TEL 022-392-8405

施設 TEL 022-392-8401

●休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

管内町内会と愛子小学校、社会福祉協議会、仙台市まちづくり課と連携し、地域住民と愛子小学校児童とが一緒に防災訓練を行い、地域全体で災害対応力の向上を目指しました。

愛子小学校

6月29日(土)8:45~12:00 小学生と地域住民710人参加

①地震が起きた想定で、地域住民の方々は、自宅から愛子小学校へ避難し、愛子小学校の児童達は教室から体育館まで防災頭巾を被って速やかに移動しました。雨天のため体育館で開会式を行いました。



②5年生は赤十字の方から三角巾を使用し応急手当訓練を指導してもらい、6年生は宮城消防署の職員から救急救護訓練を指導してもらいました。3年生は新聞紙でスリッパ作り、1,2,4年生は、教室で副読本等を使用し防災の授業を行いました。

③町内会の方々は、児童達の訓練を見学後、自分達も応急手当訓練と救急救護訓練を分かれて受講しました。応急処置の訓練は、今回初めてということでしたが、皆真剣に取り組んでいました。



④錦ヶ丘中学校の生徒もボランティアとして参加してくれました。最後に、宮城消防署副署長から、地域の大人と子どもと一緒に地域ぐるみで実施する訓練は意義があるという講評をいただきました。

## \* 参加者の声

- ・小学生との訓練とても良かったです。次年度からもよろしくお願いします。
- ・学校の生徒と合同の訓練を継続してほしい。 ・小中の子も達と一緒に、すばらしい訓練でした。
- ・今回のように子ども～大人全体で！ ・同じような訓練を毎年行ってほしいです。
- ・とても有意義でした。子ども達も頑張っていました。イキイキしていました。
- ・想定を作って訓練内容を作る必要がある。例) 何のケガ、何の脱出、何の避難など
- ・赤十字さんのプログラムをもっとやってほしいです。
- ・今回は AED 体験しかできませんでした。次回は応急手当の仕方を学びたいです。
- ・古い戦争時代の産物の三角巾の指導は不用、各家庭にない。タオル、ガムテープ、サランラップ、水等の応急方法が必要ではないか。
- ・とても充実していました。 ・大変有意義でした。来年も参加します。